



# KN カイゼンニュース

2017.2.27  
編集/発行  
都市戦略本部  
行財政改革推進部

## カイゼン記事号

川崎市版 KAIZEN さいたまッチ

### チャレンジ☆かわさきカイゼン発表会に行ってきました

2月2日に開催された平成28年度チャレンジ☆かわさきカイゼン発表会（通称チャレかわ）では、川崎市役所の各局区から選ばれた8チームが改善事例を発表しました。福田市長をはじめとする審査委員の投票により、「地域の子ども達と連携した放置自転車対策」に取り組んだ、川崎区役所道路公園センター管理課が優勝しました。



川崎区の放置自転車は全市の約半数を占めているそうです。特に問題となっているのが、区内の至るところに点在する、10～30台程度の放置自転車が集中する「スポット」です。

「スポット」の特徴は、①目的地から離れた駐輪場の利用を嫌う、②主に平日午後～夕方の短時間の駐輪で、撤去してもすぐに別の自転車が放置されるイタチごっこに担当者はずっと頭を悩ませていました。そこで、これまでの発想を転換し、地域の小学生に、将来のまちの絵を描いてもらい、それを印刷したシートで「スポット」の路面を覆うことで、自転車を止めにくい環境を創り出す、という取組に乗り出しました。この狙いは見事に的中し、放置自転車はほぼ解消したそうです。



放置自転車が  
なくなってい  
るネ！

スゴイ！！



他にも、耐久性のある新素材シートを採用し、シート施工時にはコスト削減に努め、完成式典を開催して地元住民と交流するなど、事業実施にあたって様々なカイゼンに取り組んでいます。駐輪場整備+撤去という従来の放置自転車対策から発想を切り替え、人間の心理を利用して自転車を止めにくい場所を整備した目の付けどころと、地元住民と連携して地域を良くしていこうという気概、徹底的にコストを削減した努力が審査委員から高く評価されており、チャンスがあれば、ぜひアイデアをマネしたい素晴らしいカイゼン事例だと思いました。